



第36号

令和2年10月23日

かしま 議会だより



嘉島保育園運動会

目次 Contents

9月定例会…………… 2～3

町政のここが聞きたい一般質問(4名)… 4～6

一部事務組合議会報告・主な議会活動………… 7

令和2年 第3回 9月定例会 9月4日～5日

報告2件のほか、条例改正、補正予算など提案された23件全てを可決・認定しました。また、議員提出議案についても可決しました。

報 告

- 令和元年度決算に基づく健全化判断比率の報告について
 - ・地方公共団体の財政の健全化の基準となるもの（実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率など）
- 令和元年度決算に基づく資金不足比率の報告について
 - ・公営企業会計（公共下水道事業、簡易水道事業）の資金不足状況を示すもの

議案審議 可決した案件

- 嘉島町税条例等の一部を改正する条例の制定について
 - ・本町は、納税証紙の取り扱いがないため、その部分を削除するもの
- 嘉島町手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・住民基本台帳法及び行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、本条例の一部を改正するもの
- 嘉島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・法律の一部が改正され、令和元年10月1日から実施された「幼児教育・保育の無償化」に伴い、本条例の一部を改正するもの
- 嘉島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・家庭的保育事業の児童（0歳～2歳）が保育所等へ入所するための施設整備を行うなどの改正がなされたことに伴い、本条例の一部を改正するもの
- 嘉島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・放課後児童支援員の研修を行う者に「中核市の長」が追加されたことに伴い、本条例の一部を改正するもの
- 嘉島町放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・嘉島西小学校学童保育施設の建設に伴い、本条例の一部を改正するもの
- 東部地区水源地及び配水場整備工事請負契約の締結について
 - ・簡易水道事業に伴う電気設備、機械設備、建屋築造、場内整備工事を実施するもの
- 令和2年度 嘉島町一般会計補正予算（第5号）
 - ・既定の歳入歳出予算の総額に2億7,861万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を79億3,522万1千円とするもの
- 令和2年度 嘉島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
 - ・既定の歳入歳出予算の総額に1,206万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を11億2,212万4千円とするもの
- 令和2年度 嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）
 - ・既定の歳入歳出予算の総額に41万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を63万5千円とするもの
- 令和2年度 嘉島町介護保険特別会計補正予算（第2号）
 - ・既定の歳入歳出予算の総額に4,788万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億8,835万8千円とするもの

- 令和2年度 嘉島町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
 - ・ 既定の歳入歳出予算の総額に1,058万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億3,224万9千円とするもの
- 令和2年度 嘉島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
 - ・ 既定の歳入歳出予算の総額に566万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億3,726万8千円とするもの
- 令和2年度 嘉島町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
 - ・ 既定の歳入歳出予算の総額に44万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億374万3千円とするもの

認定議案 認定した案件

- 令和元年度 嘉島町一般会計歳入歳出決算
- 令和元年度 嘉島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度 嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度 嘉島町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度 嘉島町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度 嘉島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度 嘉島町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算

(単位：円)

会 計 名		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一 般 会 計		8,510,168,932	8,076,677,170	433,491,762
特別会計	国民健康保険	1,141,560,981	1,114,660,262	26,900,719
	住宅新築資金等貸付	761,371	150,000	611,371
	介護保険	893,024,376	836,416,510	56,607,866
	公共下水道事業	568,408,209	553,060,550	15,347,659
	後期高齢者医療	129,304,143	123,302,313	6,001,830
	簡易水道事業	80,575,452	73,398,309	7,177,143

議員提出議案 可決した案件

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

令和2年第2回臨時会 (令和2年8月18日開催)

- 専決処分の報告について
 - 専議第8号 放課後児童施設建設工事の変更契約書の締結について
- 専決処分の報告について
 - 専議第9号 放課後児童施設建設工事の変更契約書の締結について
- 専決処分の報告並びに承認を求めることについて
 - 専議第7号 令和2年度 嘉島町一般会計補正予算（第3号）
 - ・ 議員研修費の一部110万円を新型コロナウイルスの感染対策に組替えるもの
- 東部台地土地区画整理事業4号調整池築造工事（1工区）請負変更契約の締結について
- 嘉島7号汚水幹線（8工区）管渠築造工事請負契約の締結について（上仲間地内）
- 嘉島町立学校情報通信ネットワーク環境整備工事請負契約の締結について
- 令和2年度 嘉島町一般会計補正予算（第4号）
 - ・ 既定の歳入歳出予算の総額に2,790万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を76億5,660万8千円とするもの



満田 和浩 議員

□ 介護保険制度の現状と今後の課題は

問

平成12年に始まった介護保険制度は、これから日本が超高齢化社会を迎え、高齢者を家族だけでなく社会全体で見守っていき、住み慣れた地域で安心して生活を継続するにあたり、顕在化してきた様々な課題を解決または緩和するためのものであり、制度の充実が図られる一方で、保険料の値上がりが行われている。介護保険制度の現状と今後の課題は。

答

(町民課長)

介護保険制度は、制度創設以来20年を経過し、65歳以上の被保険者数は、創設時の1,883人から2,528人と約1.3倍に増加し、要介護・要支援認定者数も221人から508人と約2.3倍に増え、介護が必要な高齢者等の生活の支えとなつています。

また、一方では、高齢化に伴い、令和元年度サービス給付費等の実績は、約6億9,166万円で、月平

均5,763万円を超え、創設時と比べ、約5.8倍の給付実績となり、第1号保険料(基準額)も6,400円と、当初の倍額以上の負担を頂いている状況です。

高齢者数は今後も増加し、いわゆる団塊世代が75歳以上となる2025年を見据え、介護が必要な状態となつても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、新たな取組として、「地域支援事業」や、医療・介護・予防・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築、一定以上の所得のある利用者の自己負担割合の引き上げ、介護サービスの適正給付に取り組んできたところです。

2025年が近づくなかで、更にその先を展望しますと、いわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には、高齢人口がピークを迎え、介護ニーズの高い85歳以上人口が急速に増加すると共に、出生率低下により社会を支える人口の減

少が見込まれます。

このような状況のなかで、要介護状態等の軽減・悪化の防止に資するよう、必要な保険給付を行うと同時に、給付と負担のバランスを図りつつ、保険料、公費及び利用者負担の適切な組み合わせにより、介護保険制度の持続可能性を高めていくことが、今後に於いても大変重要であると考えています。

(満田議員) 若年層の障がい者の方に対する介護保険及び障害福祉制度はどのようなになっているのか。

(町民課長)

介護保険制度では、40歳から64歳までの第2号被保険者が、介護保険サービスを利用できる要件とし

て、老化に起因して発症した16種類の「特定疾病」が原因で、介護が必要であると認められた場合に限られます。

「特定疾病」以外の原因で、介護が必要になった障害手帳所持者の場合は、介護保険の対象とは認められず、障害者総合支援法に定められた自立支援給付による「介護給付」や「訓練等給付」「自立支援医療」等を本人の障害程度や勘案すべき事項を踏まえ利用頂くことができます。

因みに、第2号被保険者の介護サービス利用者は現在11名、障害者総合支援法によるサービス介護給付該当は24件、サービス訓練等給付該当は37件の実績となっています。



園田 義宣 議員

□ 災害発生時の情報伝達(SNS・戸別受信機)の導入は

問

災害発生時の情報発信手段として、防災行政無線、一斉配信メール等があるが、大災害時には情報を確実に伝達するために一つの手段に頼らず複数の災害伝達手段を組み合わせていることが重要だとい

指摘もある。写真など発信できる情報量の多さ、繋がりやすさ、情報発信と情報収集の迅速さというメリットが大きいので、SNSを活用してはどうか。

また、防災行政無線屋外拡声子局

（屋外スピーカー）は、町内18か所に設置されているが、場所によっては音声が届きにくい。そのため、音達範囲の広いスピーカーへの交換や戸別受信機を災害弱者と言われている高齢の方々に、自力避難が困難な方が利用する施設等に設置してはどうか。希望する世帯には有償で設置することはできないか。

答

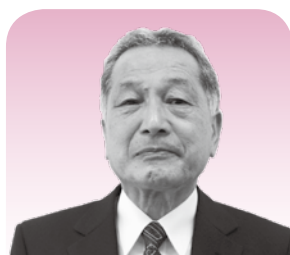
（総務課長）

現在、本町の情報伝達手段は、御承知のとおり防災行政無線、一斉配信メール、エリアメール、ホームページ等複数の手段を活用しているところ。

SNSに関しては、情報伝達機能をはじめ情報収集機能や画像情報のやり取り機能を有し防災に限らず汎用的に活用されており、導入している自治体も増加していることを踏まえ、今後検討していきたいと考えます。

防災行政無線の屋外スピーカーについては、聞き取りにくい場所への対応として、スピーカーの交換や増設等技術的な対応を検討し、防災行政無線の戸別受信機については、まず、高齢者等が利用される施設に関しては、町の地域防災計画に要配慮者利用施設として、社会福祉施設や学

校、病院等45の施設を位置づけしています。この対象施設に対し県の指導に基づき、先月「避難確保計画」作成に関する説明会を実施し、それぞれの施設で計画が策定されているところですが、その内容は冒頭に申し上げました現状の情報収集手段を活用



増岡 司 議員

□ 持続的な「行財政改革」の取組みは

問

行政運営において、行財政改革は恒久の課題といわれております。

令和元年度嘉島町一般会計決算においても、相当厳しい財政運営を求められたことが伺えます。

今後のまちづくりの基盤となる都市的な機能を充実させるための主要な事業の推進や、増大する行政需要への対応など町民の負託に応えるためには、簡素でかつ効率的な執行体制と堅実で安定した財政基盤を確立することが求められます。

将来にわたって安定的な行政運営を進めるための行財政改革にどう取り組まれるのか。

答

（総務課長）

行財政改革については、これまでの組織の統廃合や、町税の徴収強化策などをはじめ様々な取組みを行ってきたことにより、簡素な組織で健全な財政運営に努めてきましたが、近年の行政に関する状況については、人口の増加に伴う住民ニーズの増加や多様化。また、国の政策に伴う業務量の増加により、これまで進められた組織の統廃合を見直し、職員の増員による適正な人員配置が必要となりました。

財政については、皆さんご承知のとおり、歳入において町税の税収が

用した計画が策定されています。なお、希望する世帯への有償設置については、現在方法等を検討しており、今後計画を進めるとともにすでに整備している一斉配信メールの登録をより徹底する事により、確実な情報伝達を進めて参ります。

ここ数年1億数千万円程度増加していますが、交付税の減少により、そのまま歳入全体の増加につながっていません。これに対し人口増加に伴う扶助費の増加や、公共施設の整備及び維持管理等に伴う経常経費の増加により、歳出が増加し単年度の実質収支は赤字になっています。また、熊本地震による起債の償還も今後負担となります。

このような厳しい状況の中、健全な財政運営は必要不可欠であり、まず全員がその状況を認識する事が重要であるため、議会の皆様をはじめ区長会に対しても財政状況の説明を行って参りました。役場組織内においても全職員が現状を認識し経費の節減に取組み、各種事業については、さらに重要性に基づき峻別し、財政健全化の取組みを進めて参ります。

行政改革についても、将来の人口減少社会を見据え、大規模な自治体においては、マンパワーによる業務体制からAI等のICTを活用した業務が始まっています。我々のような小規模自治体も様々な住民ニーズや行政課題に対応するためこのような取組みを進め、組織の簡素化を目指し、併せて研修等による職員の資質の向上に取り組むことが重要であると考えています。



鍋田 平 議員

□プレミアム付商品券の販売方法
□災害時の緊急避難場所の確保を

問 プレミアム付商品券は、新型コロナウイルス感染症に影響を受けている地域経済や住民生活を支援するための事業としては、最も効果的で効果のある事業だと考えております。

町では、10,000セットが発行されましたが、二次販売時には、朝早くから購入希望者が殺到し長蛇の列ができ、1人3セット販売のため2時間余りで即完売となりました。

また、交通渋滞や列に並んで購入できなかった多くの人たちからは残念な声が聞かれました。販売方法等に問題はなかったのか。

答 (企画情報課長)

プレミアム付商品券事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に、新型コロナウイルスの影響を受けた地域経済や住民生活を同時に支援するために破格のプレミアム率(100%)で実施しました。販売場所については、3密を防ぎ

ソーシャルディスタンスを保つために、これまでの町商工会から町民体育館に変更し、販売体制も倍以上に増強、アルコール消毒液やビニルカーテンも設置しました。

販売方法については、先着順とせず、まずは、全ての世帯に商品券がいきたるよう、購入引換券による販売を行いました。世帯ごとに購入いただくことで、来場人数を減らし、かつ委任状の手続きをなくし、受付事務の簡素化を図り、1人あたりの会場滞在時間を極力おさえることとしました。

また、世帯人数による不公平感を少しでも少なくするために、購入上限については1世帯につき2セット、世帯員が4名以上の世帯は3セットと設定し、残った商品券については、追加購入を希望されている方々へ二次販売の購入申込みという形で実施しております。

二次販売の販売期間は、当初チラシにも期間は(予定)としており、

完売時点で終了することも掲載しています。併せて、数量に限りがあることについてもホームページやメールでもお知らせしています。

購入セット数は、プレミアム率は違いますが、過去の商品券販売状況等を勘案して決定しました。(H27年・追加販売一人当たり10セット、令和元年・購入率約45%)

今回の商品券事業については、二次販売時の購入希望者が想定以上に多く、長蛇の列ができました。暑い中お並びいただいて購入できなかった方々には、申し訳ありませんでしたけれども、来場者数に基づいて購入できないと思われる方々には、列度々ご説明を申し上げましたが、列が減少することはありませんでした。

今後、同様の事業を実施することもあるかと思いますが、この経験を生かして、改善できるところは改善していきたいと思っています。

問 令和2年7月豪雨では、球磨川で堤防が決壊するなど、河川が氾濫し、甚大な被害が発生しました。

本町は河川に囲まれており、緑川加勢川の堤防決壊等の大規模水害が発生した場合、高台の避難所や車による町内外の高い場所への避難となりますが、逃げ遅れ等緊急時の一

時的な避難場所として、水害避難タワーを設置してはどうか。

答 (総務課長)

洪水時の避難については、まず、自助として町外も含めた浸水想定区域以外の避難先(例えば、親戚や知人宅等)をあらかじめ検討していただき、安全なタイミングで避難していただくことが命を守る行動として非常に重要であると考えています。

ただ緊急の場合、建物内での垂直避難や地域防災計画においては町民体育館、町民会館、中学校及び両小学校については2階以上、並びに文化センター、下六嘉、井寺、北甘木公民館を緊急避難場所として指定しています。

避難タワーは、一般的に津波用が多く設置されているようですが、茨城県で水害避難タワーが設置されたと聞いていますが、緊急の場合、タワーへの避難経路での避難者の集中や収容人数の問題、建設コストや維持管理等を総合的に考えますと、先程申し上げました現在指定している緊急避難場所への分散避難が有効であると考えます。加えて、東部台地の開発に併せ緊急避難場所の検討を行っています。

益城・嘉島・西原環境衛生施設組合（木下組合議長 鍋田議員）**議会報告** 令和2年第2回定例会（令和2年8月11日開催）

決算認定を含む2議案が提案され、原案のとおり認定・可決しました。

- ・令和元年度一般会計歳入歳出決算について（歳入決算額608,456,174円 歳出決算額579,527,900円）
- ・令和2年度一般会計補正予算（第1号）について

上益城消防組合（境野議員・川野議員）**議会報告** 令和2年第2回定例会（令和2年8月14日開催）

決算認定を含む3議案が提案され、原案のとおり認定・可決しました。

- ・令和元年度上益城消防組合一般会計余剰金の処分について
- ・令和元年度一般会計歳入歳出決算について（歳入決算額886,269,763円 歳出決算額868,995,838円）
- ・令和2年度一般会計補正予算（第2号）について

御船地区衛生施設組合（森田組合議長・蜂屋議員）**議会報告** 令和2年第2回定例会（令和2年8月26日開催）

決算認定を含む3議案が提案され、認定・可決しました。

- ・御船地区衛生施設組合し尿処理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・令和元年度一般会計歳入歳出決算について（歳入決算額212,092,062円 歳出決算額183,557,506円）
- ・令和2年度一般会計補正予算（第1号）について

上益城広域連合（清崎議員 増岡議員）**議会報告** 令和2年第2回定例会（令和2年8月27日開催）

決算認定が提案され、原案のとおり認定しました。

- ・令和元年度一般会計歳入歳出決算について（歳入決算額68,249,962円 歳出決算額59,746,298円）

主な議会活動（令和2年7月から9月まで）

月 日	項 目	場 所 等
7月 2日	議員全体研修会	議員控室ほか
7月 17日	例月現金出納検査（春日議選監査委員） 上益城郡町村議会議長定例会	監査委員室 議員控室
8月 7日	放課後児童施設「おおくすクラブ」落成式（議長）	西小学校北側
8月 11日	令和2年第2回益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会定例会（鍋田）	組合会議室
8月 14日	令和2年第2回上益城消防組合議会定例会（境野・川野）	消防本部議場
8月 17日	例月現金出納検査（春日議選監査委員）	監査委員室
8月 18日	令和2年第2回嘉島町議会臨時会・全員協議会	議場・議員控室
8月 24日	熊本県町村議会議長・副議長研修会	自治会館
8月 25日	議会運営委員会	役場庁議室
8月 26日	令和2年第2回御船地区衛生施設組合議会定例会（森田・蜂屋）	組合事務所
8月 27日	令和2年第2回上益城広域連合議会定例会（議長・増岡）	役場会議室
9月 1日	嘉島町国民健康保険運営協議会（川野・蜂屋）	役場会議室
9月 4日～5日	令和2年第3回嘉島町議会定例会・全員協議会	役場議場・議員控室
9月 16日	例月現金出納検査（春日議選監査委員）	監査委員室
9月 18日	嘉島町地域包括支援センター運営協議会（木下）	役場会議室
9月 29日	嘉島町子ども・子育て会議（議長）	役場会議室

みなさんからの写真を募集しています

議会事務局に写真を持参いただくか、メールの場合は、写真を添付し氏名、コメントを入力の上 gikai@town.kashima.kumamoto.jp まで送信してください。



茅の輪くぐり（六嘉神社）



下仲間2番組地蔵祭り



みのりの秋

※次の議会は、**12月**に開催予定です。

議会の傍聴は議会当日に手続きすれば、どなたでも傍聴できます。
お問い合わせは、議会事務局まで。(237-1111)

編集後記

7月の豪雨災害では県南を中心に、家屋の損壊や人的被害があり、心を痛めるとともに、自然の猛威を改めて実感させられる事となりました。

地球温暖化が年々進行していくに連れて、自然災害の発生頻度も増加傾向にあります。

日頃より個人や地域における防災力の向上に努める必要があるのではないでしょうか。

熊本地震で被災し、つらい思いをした私たちの経験を糧にし、被災地への温かい応援の気持ちと、早期の復興を願っています。

発行責任者

議長 清崎輝昭

(満田)

委員長 川野伸一
副委員長 園田義宣
委員 森田義雄
委員 境野隆文
委員 増岡司
委員 満田和浩